

学習状況診断票(社会) 小学校 第5学年
5年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点		
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解
わたしたちの生活と食料生産	1	1	1	表に示された具体的な数値を基に、棒グラフを正確に作成することができる。			
		2	2	米のほかに、野菜、果物、畜産物、水産物などのさまざまな食料が生産されていることとともに、その大まかな内容について理解している。			
		3	3	グラフ中に示された米の数値を、他の食料の数値と比較することで、国民の主食としての米を自給することの大切さを考えるきっかけとなる学習課題を考えることができる。			
		4(1)	4	地形図から、縮尺や地図記号を正しく読み取ることができる。			
		4(2)	5	体に良い安全な米の生産のために、稲作農家が行っている努力や工夫について理解している。			
		5	6	日本の水田面積が減少していることと水田の役割を関連付けて、減少による課題について考えることができる。			
		6	7	日本の水産業の現状として、とる漁業における生産量が減少している中、育てる漁業の生産量が安定してきていることをグラフから読み取ることができる。			
わたしたちの生活と工業生産	2	1	8	自動車工場の関連工場では、自動車工場からの指示書の内容に従って、正確に部品を組み立てていることについて理解している。			
		2	9	部品や製品の輸送に関わる人たちは、いつも安全に運転することや、時間に正確に届けることに努力していることについて理解している。			
		3	10	自動車の製造工程の順序について、正しく理解している。			
		4	11	人や地球に優しい車の開発が進められている中、具体的にどんな車を開発していくことが、人や環境に優しいのか考えることができる。			
	3	1	12	日本のおもな工業地域や工業地帯の分布の特徴やその工業生産額の多少、生産品のわりあいを、地図やグラフから読み取ることができる。			
		2	13	おもな工業地域、工業地帯が、「太平洋ベルト」を中心に広がっている理由について、原材料の輸入や製品の輸出という貿易の観点から考えることができる。			
		3	14	日本の貿易に関わって、円グラフから輸出や輸入の状況を適切に読み取ることができる。			
わたしたちの生活と情報	4	1	15	ニュース番組の制作には、どのような過程があり、どのような手順で制作されているのか、資料をもとに読み取ることができる。			
		2	16	放送局で働く人が、どんな願いで情報を提供しているか、また、それを達成するためにどんな努力をしているのか考えることができる。			
		3	17	地方の放送局の役割やその願いについて正しく理解している。			
	5	1	18	身の回りの生活のなかで、情報がどのように活用されているのか考えたり、資料を活用したりすることができる。			
		2	19	情報を受ける側の立場として、その情報の発信元や質を自分自身で判断するなど、大切にすべきことを考えることができる。			
		3	20	情報の発信に際し、情報を正しく活用することの大切さについて理解している。			
					/ 6	/ 7	/ 7

今後の学習に向けて 自分がかんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「思考・判断」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> ・「どのような点から考えるとよいか」「考えのもとになることは何か」に注意して自分の考えをもち、仲間の考えと聞きくらべ、同じことや違っていることをはっきりさせながら、話し合いに取り組みましょう。 ・自分の考えをノートに書くようにし、どのように考えが変わったのか、自分の生活に生かしていけることは何かをはっきりさせてまとめていきましょう。 ・家庭においては、新聞やテレビニュースなどを读んだり見たりする中で、自分の考えや感想をまとめ、家の人と話し合ってみましょう。
「観察・資料活用・表現」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> ・資料やグラフを活用するときには、「タイトル」「あらわしている数値」「資料中の大事なことば」「資料中の人々の様子」「全体的な変化と部分的な変化」などの視点から、読み取るようにしましょう。 ・調べたことを図やグラフ、表などにあらわし、方法を工夫し、仲間に分かりやすく伝えるようにしましょう。 ・家庭においては、新聞や雑誌にのっている写真から、何を示したものであるかタイトルを考えたり、外出先の場所や行き方、おおよその距離等を地図で確かめたりしてみましょう。
「知識・理解」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> ・見学したことや調べたことをノートにまとめて書いたり、図にあらわしたりするようにしましょう。そのときに、みだしをつけたり、順序を矢印を使ってあらわしたり、大切なことを線で囲んだりすることなどの工夫をしてみましょう。 ・調べて分かった用語は、それを使って話したり書いたりして、くり返し使うようにしましょう。 ・家庭においては、学習後、ぎ問に思ったことについて、地域の図書館や施設、インターネットなどを活用して、自分から進んで調べましょう。